

第 1 回 LCGT 防振系設計作業部会議事録(案)

2009 年 6 月 3 日 17:00-18:20

(天文台)高橋、辰巳、(神岡)内山、我妻、(KEK)鈴木、(京大)安東、(本郷)麻生、高森
(スカイプ：ほとんど不通)新井、宮川

*検討資料はwikiを参照(<http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/JGWwiki/LCGT/subgroup/vis>)。

作業班・スケジュールについて

常温防振と低温懸架は防振系というひとつの作業部会とする。リーダーは高橋、サブリーダーは内山、三代木。会合は月 1 回開催する。9 月末までに防振系全体の大きな構成を決める。特にモデリングが急務。3 月末までに最終設計。

[以下意見]

- ・ 図面をどの程度書くのか(高森)。
 - ある程度は書くが最終的にはメーカーあるいは専任のエンジニアが作成すべきである(麻生、高橋)。
- ・ CAD を統一した方がよい(鈴木)。

ICD について

ひとまず第 0 バージョンをリリースした。今後随時改定する。

[以下意見]

- ・ 主要スペックもリストに入れたほうがよい(安東)。
- ・ 質量や大きさもリストに入れたほうがよい(内山、安東)。
- ・ Type-B も Type-A と同じ設計にしたほうがよいのでは(麻生)。
 - Type-B といっても MC2 用などひとつではない(高橋)。
- ・ Wand は入れないのか(我妻)。
 - 効果があるものは入れるが、未確認(高橋)。

常温-低温接続部について

A 案を基本に制御も含めて検討する。他の案のメリット/デメリットも出しておく。

[以下意見]

- ・ A 案の詳細を先に詰めないと論点がわからない(辰巳)。
- ・ PF を常温部と低温部の両方に付けたほうがよい(辰巳)。
 - あまり必要性が感じられない(高橋)。
 - 構造が複雑な PF みたいなものはなるべく増やさない方がよい(麻生)。
- ・ 低温で使えるピコモーターに変わるものはあるが、それは本質的な問題ではない(高森)。

- ・ C 案で IM の上にヒートリンクのアンカーとしてもう 1 段増やした方がよい(麻生)。
- ・ B 案の接続部も剛体振り子になるので伝達はダイレクトではない (麻生)。
 - B 案はあまりメリットがないようだ(高橋)。
- ・ まず論点を整理した方がよい(辰巳)。

R&D について

準備ができなかったので、次回検討する。

[以下意見]

- ・ 8-9 月までに科研費の申請も考慮して検討した方がよい(辰巳)。

次回

次回までに並進方向のモデリングを行う(高橋)。

会合日程は他の作業班と同一曜日で調整される予定。

文責：高橋竜太郎